



八 剣 山 通 信

第 6 号

八 剣 山 発 見 隊

2003年 2 月 7 日 発行

2月2日(日)

雪だるまづくり & 凧づくり を実施しました。

【行事の概要】

札幌市では2月5日から11日までの7日間にわたり「第54回さっぽろ雪まつり」が開催されます。その協賛事業として「第2回さっぽろスノーメモリアルチャレンジ・ザ・ギネス雪だるまづくり2003」が開催され、市内各地において1万個の雪だるまの制作に向けた挑戦が行われます。



このイベントに併せて、八剣山地区でも「ゆきだるまづくり」を行ってイベントに参加します。丸だけの雪だるまのほか、木の枝やいろいろな材料を使って面白い雪だるまの制作にも挑戦します。

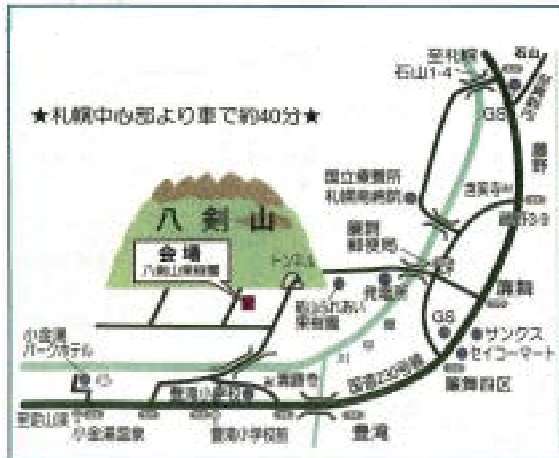
【2月1日現在の制作登録個数：2,369個】

雪だるま制作で冷えた体を温めるため、昨年12月に越冬させた「大根、人参、ジャガイモ」を使い、豚汁づくりを実施しますが、越冬野菜の味を参加者に味わってもらい、越冬野菜が本当においしくなるのかを実際に確かめてみます。

午後からは室内において、札幌市南区から提供を受けた凧のキットを使って、凧づくりを行います。天気が良く風が少し吹いていれば、完成した凧を上げてみたいと考えています。

主 催：八 剣 山 発 見 隊

【会場の位置図】



【行事の状況】

さっぽろ雪まつりのイベントに併せて実施した「雪だるまづくり」。前日までの大雪と寒さも一段落し、白い雪に反射してまぶしいほど晴れわたった穏やかな空のもと、30人が参加しました。

はじめに、1mほどの雪に覆われている畑から越冬野菜を掘り出し、お昼の豚汁用に確保、それから雪だるまづくりに挑戦しました。はじめは寒さのため雪がなかなか固まりませんでした。気温が上がるに従い雪だるまの制作も容易になり、通常の2段の玉だけでなく3段のものやベッカム調のもの、高さが2mを超えるものなど、午前中で20個ほどの雪だるまが完成し、このうち11個を大会事務局に登録しました。

お昼は、越冬野菜を利用した豚汁を味わいました。越冬したジャガイモは、栗のようまでは言えませんが、大変おいしくなっていました。もう少し時間をかけると、もっとおいしくなるのかもしれない。

午後からは子供中心で「凧づくり」に挑戦しました。完成後、外へ出て凧上げに挑戦しましたが、風のそれほど強くない中、うまく糸を操って風に乗せて上げている凧も、数多く見受けられました。



【制作した雪だるまをバックに記念撮影】

【今後の行事予定】

- ・ 2月16日 陶芸体験、薫製仕込み、氷ハウスづくり
- ・ 3月2日 薫製づくり、氷ハウスづくり完成

発行：八剣山発見隊事務局（八剣山果樹園）
061-2275 札幌市南区砥山126番地
011-596-2280 FAX 011-596-2280